

みかたはミカタ

見方を変えて自分の味方になろう

佐藤有佳

デザインコース

本書は、コミュニケーション心理学手法の一つである「リフレーミング」を用いた絵本です。リフレーミングとは、「相手の見方、考え方に対する意味づけを変えて声かけをすること。」です。例えば、物語の中でうさこちゃんが言われて悩む「八方美人」という言葉も、裏を返せば「人の気持ちを考えることができる」と言い換えることができます。このように、自分の思考の癖に気づき捉え方を変えて意味づけをすることは、悩んでいたりそれによって塞ぎ込んでしまったりする子供たちの気持ちを軽くすることができるのではないかと考えます。人から言われた言葉に少し落ち込んだとき、心が壊れそうなき、心がなくなってしまいそうなき、そのような日常のふとした悲しみを、認め、優しく、自分が包み込んであげることができれば、明日も自分らしさを失わず、心をなくさずにいられるのではないのでしょうか。心にそつと寄り添えるお守りのような絵本になれば嬉しいです。



絵本/上製本、h210×w200/pp.66

武士道留学

留学で失敗しないための武士道

本江弦太

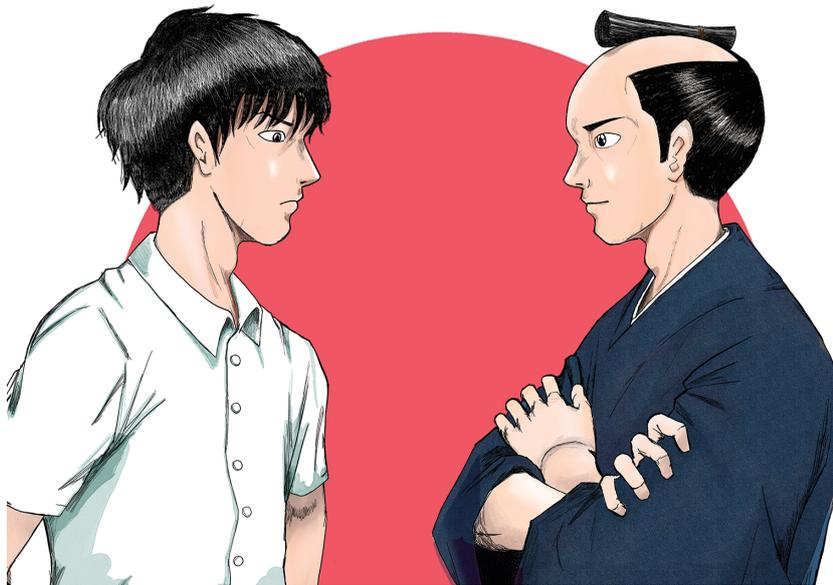
デザインコース

自分の意見が言えない。これは、留学で経験したいくつかの失敗の中で、最も印象に残るものだ。

そしてこの失敗は他の日本人留学生との対話を通して、私だけではなく多くの日本人留学生があらゆる状況で直面する課題であると感じた。

この研究制作は、「武士道」という日本古来の思想にある生き方や行動規範を知ること、わたしたち日本人が留学において陥りがちなあらゆる失敗を免れるのではないかという仮説に基づいている。

武士道留学



漫画/Clip Studio/h182×w128mm

増えた12kgの脂肪は黒歴史か青春か 食べることに悩んだ過去のエッセイ漫画

福西里桜

デザインコース

中学から始めた陸上競技をきっかけに痩せることや体型にこだわってこだわってこだわった学生時代。なのに最終的に12kg太ったそんな過去を暴露したエッセイ漫画です。

速く走るために痩せなきゃ…
価値を出すために痩せなきゃ…

でも食べたい!
甘いつつうまい…!

食欲のコントロールが効かない!

いろんな目標や葛藤、悩みを持ち続けた私の学生時代は、隠さないといけない黒歴史なのか…?

それとも自分の背中を押してくれるような青春の時間か…?

漫画を描く中で感じた「隠したい過去も、今を生きるための自信につなげたい」という思いを漫画に込めました。

卒業制作をきっかけに、自分自身や同じような悩みをもった人の前に進むきっかけになればと思い、制作しました。



エッセイ漫画／墨、水彩、In Design／A5版、pp.288

経験を形に残す映像作品

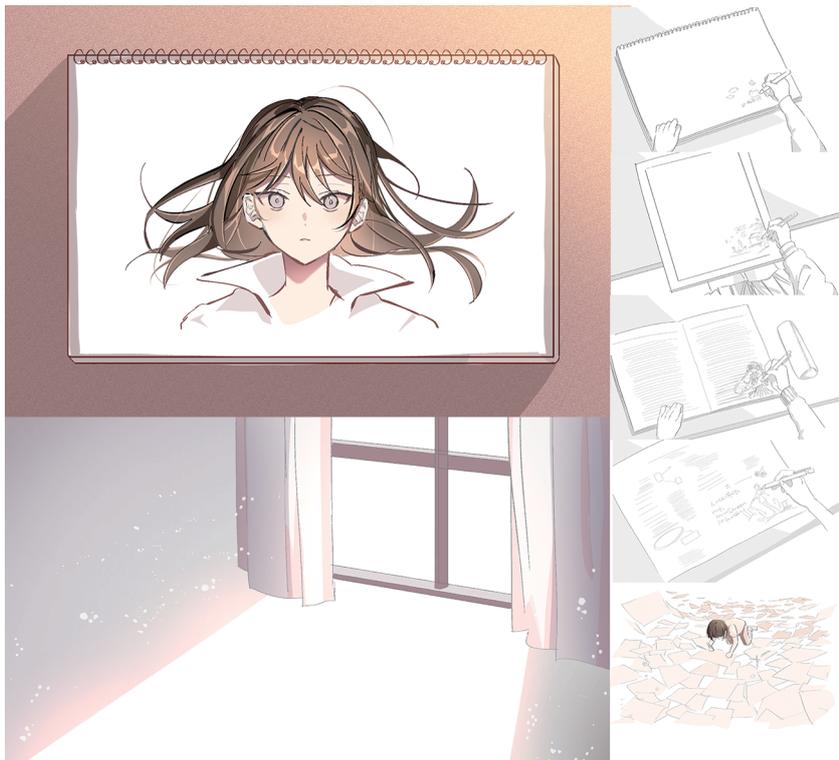
梶原美咲

デザインコース

子供の頃は純粋に楽しめていたことが成長するにつれて楽しめなくなることがあるのはなぜだろう。私は自分の行うことに能力や責任が伴ってくること。「こうあるべき」「こうするべき」という意識が課題であると考えました。

この制作では私自身に感情の変化があった『絵を描くこと』を一つの軸とし、小中高と成長するにつれて段階ごとに心境描写の変化を描き込むことで成長するにつれて忘れていた、子供の頃の純粋な感情を振りかえり、そしてそこから前向きな気持ちで前に進んでいくストーリーアニメーションを制作しました。

映像を見た方が今やっていることの最初に感じていた楽しさの気づきや振り返る行動一つで見方や捉え方が変わるきっかけになればと思います。



アニメーション / CLIP STUDIO, Adobe Premiere

わたしのかぞく

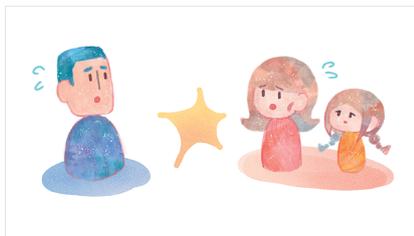
寺嶋こころ

デザインコース

私は小学校4年生の時、ステップファミリーになりました。

ステップファミリーとは再婚や事実婚などで血縁のない親子・兄弟関係のある家族のことです。連れ子再婚と呼ばれることもあります。日本では現状認知度が低く、当事者の多くも自分達がステップファミリーであることを知りません。結果普通の家族にならなければと思い込み、すれ違いや最悪の場合、離婚や虐待などにつながっています。

自分の経験をアニメーションにすることでステップファミリーを知るきっかけを作りたい思い、制作しました。



▲YouTube

アニメーション／CLIP STUDIO PAINT、Adobe Premiere

おてんばみいちゃんとたからさがし

とやまわんのたからもの

和久田美紅

デザインコース

若い世代の海に対する興味低下を課題と捉え、解決方法として幼少期から海への興味を育む絵本を提案する。ターゲットエリアを富山地域とし、絵本特有の読み聞かせという行為から親子の会話に繋げ、親世代やこれからの富山地域を担っていく子どもたちに向けて、富山県にしかない価値・シロエビを通して富山湾の持つ価値の認知から海への興味に繋げていく。また、幼少期に富山湾の価値を認知することで地元愛を醸成し、持続的な海への興味に繋げることを目指す。



絵本/上製本、h267×w255mm/pp.48

天使と悪魔

性犯罪を抑止するための啓発動画

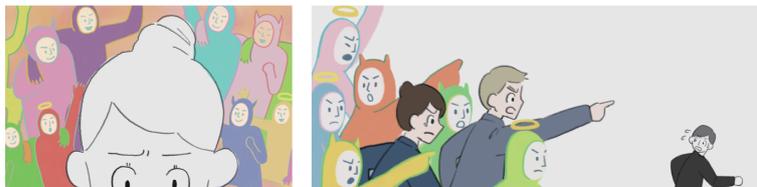
加藤彩乃

デザインコース

この作品は、人間が持つ二面性を「天使」と「悪魔」として表現した映像作品です。

あなたが満員電車で痴漢の加害者になってしまったら、被害者になってしまったら、たまたま痴漢を目撃したらどのように行動しますか。性犯罪の被害申告率の低さは、犯罪を軽視した再犯を増加させるほか、冤罪など別の犯罪へと広がっています。

もしも、あなたが何かに困った時、信頼できる誰かがいる世の中であってほしいと思います。



映像／アニメーション／5min.

鏡の無限反射。

こんなにも綺麗なお花たちが、こんなにも大量に捨てられていいのか。

石田鈴奈

デザインコース

お花が好きで花屋でアルバイトをしていると、先輩店員が満開で綺麗な状態のお花を廃棄していました。もったいない、悲しいと思い、廃棄の理由を聞くと「もう売れないから」と。

花屋では、つぼみから時間が少したった咲き始めのお花がよく売れます。そのため、枯れてはいないけれども、咲き終わったお花は廃棄されます。その量、1週間で約100本。私が働く売り場だけで約100本が廃棄されています。多いですね。

そこで、店頭で正規価格で売れない、廃棄直前のお花100本を使用して、作品を作りました。商業的に生産された全国で年間合計約12億本のお花が、鑑賞されることなく廃棄されています。この社会問題の深刻さに気づき、ことの大きさを体感していただけるようにと、鏡の無限反射を利用して空間を作りました。

現状を考えるきっかけになればと思っています。



アート／鏡の無限反射、生花、鏡／h618×w1536×d1536mm

最強の和食

現代型栄養失調の改善を目的とした料理本

笹木梨花

デザインコース

本作品は若年層の栄養改善を目的とした和食料理本です。

若年層を中心に特定の栄養素が不足して起こる現代型栄養失調を課題とし、課題解決のために和食料理の、特に現在の和食が成立した江戸時代の料理本からレシピを引用して料理本の制作を行いました。

本書では「手間がかかる」という和食の固定概念を崩すべく、電子レンジやサララップなどを駆使しながら決して「簡単」だけが目的ではない、「おいしい」に繋がる「簡単」を紹介しています。

本書をきっかけとして、和食本来の出汁の旨味や栄養に対する意識を少しでも高めてもらえたら嬉しいです。



ブックデザイン／本／A5版、pp56

手作りを楽しむ柳ヶ瀬

ハンドメイドを通じて柳ヶ瀬商店街の魅力を周知する冊子としおり

太田未優

デザインコース

岐阜県岐阜市にある柳ヶ瀬商店街は、かつて全国で有数の繁華街として栄え、歴史を重ねてきました。しかし現在では、シャッターを下ろすお店が増え、岐阜に住む若者が柳ヶ瀬を知らないという現状があります。

私は「ハンドメイド」に特化したイベントやお店が柳ヶ瀬商店街に多く存在していることに注目し、ハンドメイドという観点で柳ヶ瀬の魅力を物語で伝える冊子「FROM」を制作しました。また、冊子に加えてハンドメイド作品を自分で作る楽しさを感じてもらうために「柳ヶ瀬手作りしおり」を作りました。

この二つの作品を通してたくさんの人たちがハンドメイドの楽しさに触れて、手作りを楽しむまちである柳ヶ瀬商店街と出会うきっかけになれば幸いです。



グラフィックデザイン / 上質紙、ケント紙 / h210×w148×d3mm

本川藤由商店のブランディング

のれん・日よけ幕・看板の制作

五十嵐悠

デザインコース

本川藤由商店は、富山県氷見市で明治3年から醤油の製造販売を営んでいる老舗です。

本川さんの課題は、「氷見に来た観光客・近隣を訪れる人々にお店として認知してもらえない」こと。そのため「お客さん」となり得る人々に素通りされてしまっているという現状があります。

そこで課題の解決方法として、「明治3年から続く氷見の網元が作った寒ブリに合う醤油」をコンセプトに、のれん・日よけ幕・看板をデザイン・設置しました。この3つのアイテムを設置し、「お店」ということが一瞬でわかる仕組みを作ることで「お店」として認知してもらうことができ、入ってもうきっかけを作ることができます。

今回の取り組みから、本川藤由商店の醤油の魅力をより多くの人に知ってもらえるよう願っています。



ブランディングデザイン / ミクストメディア

ダンシング・イン・トヤマ!! ～地元愛を深める物語～

平井伸昌

デザイン工芸コース

快晴の少ないうつうつとした天気。
何か起これば地元の話になる。
富山の特産品と言えば・・・
言わずともわかる。

富山で生まれ育った主人公はそんな
地元で退屈していた。
ある日、主人公にしろえびのPR漫画
を描かないかと話がる。
漁師や料理人など富山で生きる人達
と出会う中で、地元の奥深さを感じ、
退屈な日々が終わりを告げる。

作者の実体験を基に描いた渾身の地
元愛物語。



『私』

自分自身と向き合う事の大切さ

井上剛志

デザイン情報コース

私は就職活動を通して『偽りの個性』という物がある事に気がきました。自分自身に目を向けず、ネットや本からかき集めた『偽りの個性』で評価をされる。そんな就活競争に対する疑心感をアニメーションで表現しました。これから就職活動をする人達が、自分の言葉で、自分の足で、自分の顔で就職活動を進めて欲しい。そんな思いを込めました。



アニメーション / Adobe Premiere Pro、Procreate / 3min. 37sec.

「食」の中に秘められた「音」を楽しもう!

村上藍子

デザイン情報コース

「料理中や食材から出る音が
“音楽”になれば、
もっと料理が楽しくなるよね…?」

という考えから、
世界一硬い食べ物と言われている
「鰹節」で木琴を作り
曲として奏でる挑戦をしました。

今まで気にも留めていなかった
『音』が『音楽』に変わる発見
そして食材がもつ音の魅力を感じ
お楽しみください!



楽曲制作、ミュージックビデオ／本枯鰹節、Adobe Premiere Pro、Adobe Audition／4min. 20sec.

未来のMRテクノロジーを利用した演劇映像のストーリーミングにおける衣装デザインの提案

磯野志保

デザイン情報コース

新型コロナウイルスの流行は演劇界に大きなダメージを与えた。感染を防ぐため劇場や稽古場が使用不能になっていく中、従来の大人数が密集する観劇スタイルが見直されている。そこで新たな演劇の形として、次世代のMRテクノロジーを利用した演劇配信における衣装デザインを提案する。MRテクノロジーとはMixed Reality(複合現実)のことをいい、デバイスを通して現実世界とデジタル要素を融合する技術だ。この技術を演劇にも用いることで空間を超えた観劇体験が可能になる。

今回は演劇作品エリザベートがMR技術を用いて配信された場合、演者はどのような衣装を着るべきかについて研究し、登場人物の1人である「トート」を例に未来の演劇衣装をデザインする。



衣装デザイン/ペンタブレット、CLIP STUDIO/h430×w1700×d8mm

人魚になりたい女の子の夢を叶えるためのデザインアイテム

新京芽耶

デザイン情報コース

女の子なら誰もが憧れる人魚姫。
そんな憧れの人魚姫になりたいという夢を叶えるために、光り輝く鱗をあしらった世界でひとつだけのビスポークコスチュームを制作しました。



衣装制作／塩化ビニール、マジョーラ /h900×w600×d900mm

やさしい生活のための 野菜と暮らす日めくりカレンダー

梅村歩実

デザイン情報コース

私たちが日々口にしてる野菜たちには、普段目にする事の無い、収穫するまでの過程がある。しかし、それが身近でない人にとっては、古くなったらすぐ捨てる、食べられなかったらすぐ捨てるという選択をあまり考えずにしてしまうことも多い。

そこで、春夏秋冬365日の畑仕事を毎日体感することができるカレンダーを制作した。このカレンダーでは、野菜作りの手順だけでなく、畑づくりに必要な道具についての解説や畑仕事をする上で避けることのできない課題についても取り上げている。

このカレンダーを毎日めくるごとに、畑仕事や野菜に親しみを持ち「やさしい生活」を送るきっかけになって欲しい。



やさしい生活のための
野菜と暮らす日めくりカレンダー



カレンダーデザイン / Adobe InDesign, Adobe Photoshop / A6, pp.368

車いすで楽しもう!富山観光ガイドブック

吉田志乃里
デザイン情報コース

車いすで出かけるとなると、道の広さやトイレの状況など様々なことが気に掛かる。そんな時インターネットで調べてみても、本当に求めている情報は得られない場合も多い。もっと楽しく、もっとリアルなバリアフリー情報を得られる媒体があれば、出かける事へのハードルが下がって初めの一步を踏み出しやすくなるのではないかと。そう考え、このガイドブックを制作した。本作品では、地元・富山の魅力ある観光地を車いす目線で紹介・解説している。旅行雑誌をめくる感覚でお出かけへの不安をワクワクに変えられるよう工夫した。



エディトリアルデザイン / 冊子 / h196×w148.5×d4mm

宮城のこころを結ぶ

若者の方言に対する愛着増進に向けたアプローチ

松尾幸乃

デザイン情報コース

私のふるさとである宮城県の方言は言葉の節々に濁点が多く、田舎臭いいわゆる「ズーズー弁」と呼ばれている。その特徴ゆえに特に若者からは敬遠されがちであり、方言離れが加速しているのが現状である。

そこで、ズーズー弁を若者向けにグラフィック化し、手刺繍で表現したオリジナルグッズを制作した。

たとえ宮城を離れ、方言を話さずとも地元を感じられるような、今までネガティブに捉えていた方言という文化を誇りに思えるような作品を目指した。また、グッズの素材には宮城の伝統工芸品である若柳地織を使い、触れるたびに地元へ想いを馳せることができる。



プロモーションデザイン／綿織物、刺繍糸／h180×w130×d5mm(他15点)

ウィッグを待っている子どもたちへ出来ること

ヘアドネーションのハードルを下げするための試み

北島夕愛

デザイン情報コース

子どもにとって、病気に対する治療の副作用などで「髪が抜ける」ということは病気と同じくらい精神的な苦痛になることがある。「脱毛」を理由に抗がん剤治療を受けない人もいる。そんな髪が抜けてしまった子どもたちに、ウィッグを作って無償で提供するという活動が「ヘアドネーション」である。

「ドネーション」と聞くと、ハードルが高いように聞こえるが、実際はそうではないかもしれない。卒業制作を通して、より多くの人に「ヘアドネーション」に対する知識・理解を深めて貰いたいという思いで制作した。



コミュニケーションデザイン／アニメーション

ヤバイ図鑑

正しい日本語を学ぶ

谷口太一

デザイン情報コース

日本語の抱える課題である、語彙力の低下を解決するため、子供達の語彙力向上を目指した3冊の絵本を制作しました。様々な場面・意味で使われる「ヤバイ」は、語彙力の低下を助長する言葉である。しかし、「ヤバイ」を適切な日本語に直すことで語彙力を高めることができるのではないかと、という仮説のもと絵本を制作しました。小学1・2年生を対象としたドリル形式で「ヤバイ」を紐解き豊かな表現に出会える絵本となっています。『おにぎり』では物、『かいづつ』では人、『わくせい』では空間に対して使われる「ヤバイ」を紐解くことで豊かな表現を学習することができます。



絵本／ヴァンヌーボV、マットコート紙／h210×w210mm／3冊

きをつけるしょくぶつ

身近にある意外な危険から身を守るための研究

大宮日奈

芸術文化キュレーションコース

植物は私たちの生活に彩りを与えてくれます。

しかし、植物の中には、目に見えない毒をもつものがあります。

植物を安全に楽しみたいという思いから、身近にありながら、触って皮膚炎になる植物に注目しました。

より多くの方に楽しんでいただけるように、親子で読む絵本にしました。

子供も大人も読みやすいよう、子供向けの文章と大人向けの文章を分けています。

絵本後方には、大人向けに植物の詳しい情報を紹介するページを制作しました。

また、この絵本はカラーユニバーサルデザインにも対応しています。



絵本／ヴァンヌーボVGスノーホワイト/A4版、pp.32

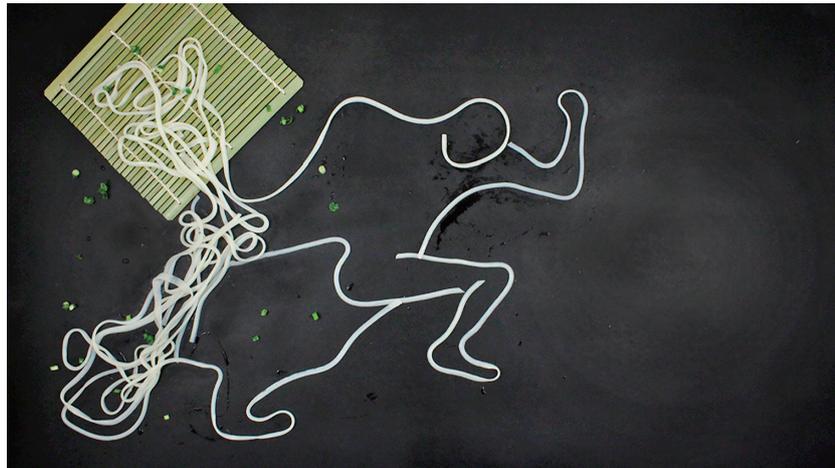
氷見うどんピック2020

氷見のうどんのプロモーション動画

高橋佳汰

デザイン情報コース

日本三大うどんの一つとも呼ばれ、
もちもちとした強いコシと
つるんとしたのどごしが
特徴の氷見のうどん。
そんな氷見のうどんの
コシとのどごしを、
アスリートの身体能力に置き換え、
コマ撮りアニメーションで
表現しました。



コマ撮りアニメーション//Adobe Premiere Pro, Adobe After Effects//1min 47 sec

人生いろいろ見本町

前向きになるきっかけ

戸井田夏子

デザイン情報コース

老若男女の山あり谷ありの、様々な人生を集めたインスタレーションを制作しました。

落ち込んで、自分だけが辛い思いをしていると感じるときがあります。

しかし、自分が感じているような悩みや喜びを持つ人がいると知ること、励まされ、人生を前向きに考えられるきっかけになります。

0歳から101歳までの270名の方にアンケートのご協力を頂きました。

隣の家の事情をこっそりと覗き込むように、パネルをめくるとそれぞれの人生の山と谷を読むことができます。様々な人生を知り、「まあ、いいか」と気持ちが少しでも軽くなれますように。



インスタレーション／スチレンボード／h1000×w2000×d40mm

日常を豊かにする生活雑貨デザインの提案

越田早葵

デザイン情報コース

現代の生活雑貨は、大量生産・大量消費に重きを置いています。そのため、モノを目立たせる派手なデザインや、環境に配慮しない素材を使用した商品になりがちです。

そこで、生活に馴染むデザインと環境に優しいデザインを取り入れ、部屋とその場で過ごす人々の快適さを重視した生活雑貨を考えました。

パスタパッケージ、“CASA della Pasta”は、詰め替え用の蓋と屋根を差し替えて使います。屋根部分を使い続けられるため、生活ゴミを少なくします。

洗濯ばさみ、“SABOTEN”は、収納に困る洗濯ばさみをサボテンの針に見立てました。今まで散らかっていた洗濯ばさみも綺麗に収納でき、面倒な洗濯を楽しくします。



製品デザイン／スノーブル-FS、PLA、シナ合板／h2250×w750×d700mm・h2200×w1350×d1350mm

おもてなしと発見の奈良ガイドブック

修学旅行生に奈良を100倍楽しんでもらう為に

高山楓生

建築デザインコース

修学旅行で奈良は素通りされる状況にあります。その現状を解決する為、女子高校生受けする写真スポットの紹介や、指導要領を踏まえながらも奈良の歴史を親しみやすく伝えたり、学生が自由に描き足すことができるマップページを設けるなど、今までの修学旅行生向けガイドブックにはない要素を盛り込み、制作しました。

このガイドブックによって、修学旅行で奈良を楽しむきっかけが生まれ、学生に自ら「奈良ってこんなに面白い場所なんだ!」と、奈良の魅力を発見してもらいたいと考えます。



エディトリアルデザイン / HS画王90.5kg / h420 x w594mm

Farm Box

有機野菜への理解促進の
ためのデザイン提案

金子佳樹

デザイン情報コース

日本は他の先進国よりも有機野菜が普及していないという課題の解決を、デザインで図りました。

従来は存在しなかった「農薬削減率が一目で比較できるタグ」と、「有機野菜に関する情報を載せたメディアとしてのダンボール」をデザインしました。有機野菜を身近で、分かりやすいものにすることを目指しました。

制作したものは、富山市にある「そよかぜ農産物直売所 藤の木店」にて実験を行い、その様子を映像にまとめました。実験では今後に向けたさらなる改善点を得ることができました。



コミュニケーションデザイン／シール、ダンボール、映像／h300×w400×d130mm(ダンボール)、2min 20sec(映像)

ものを末長く使うしくみの提案

革靴を事例に革のメンテナンスを学ぶ

山下瑞稀

デザイン工芸コース

使い捨てが当たり前の現代において、一つのを長く使うものづくりが必要だと考え、ものを末長く使うしくみを提案します。今回は革靴を例に、革靴を末長く使い続けるためのしくみを提案します。過去に革靴の正しい知識や取り扱いがわからなかった為に、革靴を傷めてしまった残念な経験があります。私と同じ20代・女性で同じような経験があるという方が多かった為、この課題をしくみによって解決しようと考えました。

この「LEATHER LEARNING KIT」では、革靴の機能を長持ちさせる為に必要不可欠な靴べらを通して革を学んでいきます。キットを通して革のメンテナンスを習得することができ、お気に入りの革靴を末長く履き続けられるしくみを提供します。



コミュニケーションデザイン／革、アルミ